

奥津弘高氏（郷土資料研究家・横浜黒船研究会会員）

1951年神奈川県小田原市生まれ。1974年明治大学卒業。

2010年論文「相模湾における汽船交通史」が小田原市郷土文化館研究報告第46号に掲載される。この調査で相模湾に初めて現れた蒸気船がペリー艦隊と知り、2004年頃よりペリー日本遠征の調査を始める。

ペリー提督帰国後の議会報告書第2巻に、魚や貝、鳥、動物など日本の博物学に関する調査報告を掲載したことに注目。

趣味は魚釣りで15歳よりアマゴ、ヤマメ、イワナの溪流釣りに没頭し、関東・中部・東北・北海道の溪流に通い65歳で釣りを卒業。50代は趣味と運動を兼ね漁師の船に乗って刺し網漁や蛸壺漁を手伝い、魚類標本を神奈川県立生命の星・地球博物館へ寄贈したこともある。

現在は近世や近代の郷土資料を調査し毎年研究発表を行っている。